

学生主催のトークイベント

「キャリアの引き出し

新しいアートの支え方、関わり方」開催について



公立大学法人

静岡文化芸術大学

令和4年2月17日

静岡文化芸術大学 事務局

【電話】053-457-6113

本学芸術文化学科でアートマネジメントを学ぶ学生有志らの団体「静岡文化芸術大学アートマネジメント学生会議」が主催するトークイベント「＜キャリアの引き出し＞新しいアートの支え方・かかわり方」が開催されます。

このイベントは、文化に関わる自治体財団や企業の中で働く経験を持つ4名のゲストを招き、アートマネジメントに関するキャリア形成の体験談や仕事と私生活のバランスなどについて伺います。アートマネジメント業界を志す多くの学生にとって、働き方の選択肢やキャリア形成について知り、新たな気づきを得ることで、自分らしいアートの支え方・かかわり方を考えます。

コロナ禍での開催の中、オンラインを活用しながら、企画運営・配信オペレーションまでを学生主体で行うイベントです。

つきましては、ぜひ取材くださいますよう、よろしくお願いします。

トークイベント「＜キャリアの引き出し＞新しいアートの支え方・かかわり方」

【日時】2022年2月22日（火曜日） 午後7時～午後9時

【参加方法】ビデオ会議システム「Zoom」（オンライン）

※配信会場をご取材いただくことも可能です。

会場：静岡文化芸術大学 南棟 279 中講義室

【参加料】無料（要事前申し込み）

【登壇者】

丹治 陽（SPAC - 静岡県舞台芸術センター制作部 副主任）

松浦茂之（公益財団法人三重県文化振興事業団 文化会館副館長兼事業課長）

松本麻未（公立大学法人静岡文化芸術大学 事務職員）

吉村真也（日本アートマネジメント学会関西支部 事務局長、文化と地域デザイン研究所 研究員）

【主催】静岡文化芸術大学アートマネジメント学生会議（SMAM）

【協力】文化と地域デザイン研究所

【問合せ】静岡文化芸術大学アートマネジメント学生会議（SMAM）

E-mail: info.smam2021@gmail.com

＜来学でのご取材にあたってのお願い＞

「マスク着用」、「手洗い」等の感染症防止対策へのご協力をお願いいたします。

トークイベント

〈キャリアの引き出し〉

新しいアートの 支え方・関わり方

心のモヤモヤがちょっとクリアになる 2 時間

文化・芸術業界で様々な働き方をしているゲストをお迎えし、
今まで、そしてこれからの働き方についてお話ししていただきます。

参加ゲストと一緒に自分の働き方について考えてみませんか？

学生、社会人問わずどなたでもご参加ください

参加ゲスト (50音順)

丹治 陽 SPACー静岡県舞台芸術センター 制作部 副主任

松浦 茂之 公益財団法人三重県文化振興事業団 文化会館副館長 兼 事業課長

松本 麻未 公立大学法人静岡文化芸術大学 事務職員

吉村 真也 日本アートマネジメント学会関西支部 事務局長／文化と地域デザイン研究所 研究員 (企業メセナ研究)

2022

2/22 Tue

19:00 - 21:00

参加無料

オンライン開催 (要事前申し込み)

参加申し込みはこちら URL : <https://forms.gle/uuwVSaTmmKzDDGpq6>



◆開催概要

この企画では、文化に関わる財団や企業の中で芸術に関わるキャリアを持つ4名のゲストをお招きし、キャリア形成の体験談や仕事と私生活のバランスなどについて語っていただきます。文化・芸術業界の仕事は、私生活との両立が困難とされ、雇用が不安定と言われることが多いのが現状です。さらに「アートを仕事にする」とは言っても、その働き方や関わり方には定型がありません。学生は、どのような働き方の選択肢があるのかわからず、数年後の自分たちの見通しさえも立てることが難しくなっています。私たちと同じように、文化・芸術業界で働くこと・働き続けることを目指す若者たちが将来に漠然とした不安を抱えている姿も思い浮かびます。今回、4名のゲストから具体的なお話をうかがい、新たな「気づき」を得て、自分らしいアートの支え方・関わり方を、みなさんとともに考えていけたらと思います。

◆参加ゲスト紹介

丹治 陽

Haru Tanji

SPACー静岡県舞台芸術センター 制作部 副主任

1982年生まれ。横浜市青葉区育ち。小中高大はラグビーに熱中。大学では建築設計を学ぶも、アートマネジメントと出会い、静岡文化芸術大学大学院へ。2006年よりSPAC制作部に所属。SPAC作品の制作や人材育成事業、営業・ウェブチーフなどを担当。現在は、新規事業「SPAC演劇アカデミー」に取り組む。2015年、文化庁在外研修制度を活用しグラスゴーに滞在。2019年より静岡県立大学非常勤講師。

松浦 茂之

Shigeyuki Matsuura

公益財団法人三重県文化振興事業団
文化会館副館長 兼 事業課長

1968年三重県四日市市生まれ。金融機関等の民間勤務を経て、2000年より公益財団法人三重県文化振興事業団職員として勤務。総務部企画広報総務グループリーダーを経て2007年に事業部に異動し、2019年4月より現職。総務部では組織改革、業務改革に携わり、事業部では事業統括と演劇事業を中心に担当し、Mゲキセレクション、MPAD、演劇ラボ、老いと演劇事業等をプロデュースし、現在に至る。

松本 麻未

Asami Matsumoto

公立大学法人静岡文化芸術大学 事務職員

1987年、静岡県生まれ。千葉大学教育学部卒業後、静岡文化芸術大学大学院文化政策研究科修了(文化政策修士)。公益財団法人浜松市文化振興財団にて、広報を中心に助成金事業やアウトリーチ等を担当し、浜松国際ピアノコンクールにも携わる。2019年より現職。現在は大学広報を担当。幼い頃より音楽に親しみ、現在も市民オーケストラに所属して音楽活動が続けている。

吉村 真也

Shinya Yoshimura

日本アートマネジメント学会関西部会 事務局長
文化と地域デザイン研究所 研究員
(企業メセナ研究)

1971年、奈良県生まれ。音響機器メーカーにて社会貢献・芸術文化支援(企業メセナ)を22年間担当。「子ども達と音楽」をテーマに活動し、メセナアワード等受賞。企業メセナ協議会調査研究部会長、NPO役員等歴任。現職は化学メーカー広報担当を本業とし、勤務時間外をアート活動に充てる週末アートマネジャー。高校までは吹奏楽男子。大学でロックに転向、今もゆるゆるとバンド活動継続中。

◆ご参加の流れ

右側の申し込み用 QR コードより、必要事項をご入力の上お申し込み下さい。

開催日当日の正午までに参加 URL をお送りいたします。

申し込み締め切り 2月18日(金) URL : <https://forms.gle/uuwVSaTmmKzDDGpq6>



◆静岡文化芸術大学アートマネジメント学生会議 (SMAM) とは

「Students Meeting of Art Management」の略。公立大学法人静岡文化芸術大学でアートマネジメントを学ぶ学生による組織です。アートマネジメントに関心がある学生や社会人をつなぐことを目的としています。

※静岡文化芸術大学は、我が国で唯一、文化政策学部を擁し、アートマネジメントと文化政策を研究する教員が多数在籍しています。

◆お問い合わせ(ご不明点・ご質問など)

静岡文化芸術大学アートマネジメント学生会議 (SMAM)

E-mail : info.smam2021@gmail.com



最新情報はこちら

ロゴマークデザイン デザイン学部 1年 鈴木萌未
チラシデザイン デザイン学部 3年 細澤みなみ